

組織目標評価報告書 (令和5年度)

部局名: **教育推進機構**

部局長名: **菅 誠治**

目 標		目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
③社会貢献(診療を含む)領域	関連する 中期計画の番号	社会貢献(診療を含む)領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
「岡山大学先端研究講座」及び「岡山大学公開講座」をそれぞれ2件及び30件程度開設する。また、講座の質的な向上を図り、大学の知を地域の皆さまへ分かりやすく伝える地域貢献を推進する。		「岡山大学先端研究講座」を3件、「岡山大学公開講座」を53件開設した。全講座のうち、対面実施が昨年度の29件から42件へ増加し、全体としても実施件数が増加した。また、先端研究講座では、本学の教員が進める先端的な研究プロジェクトの内容を題材としており、昨年度開設の講座とは異なる分野や内容の講座を開設した。開設件数の増加、対面実施の増加、新しい内容の講座の開設により、地域の皆さまに、本学の先端の知を身近に体験してもらう機会を提供できた。
④管理運営領域	関連する 中期計画の番号	管理運営領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
①未だ改編後2年目であり、教育推進機構をより安定的に運営する。 ②教職員に対する各種倫理教育、情報セキュリティ教育等を通して、法令遵守の徹底を図る。		①令和4年4月1日付けで教育関係組織を再編し、中・長期的な企画・立案機能として教学担当理事を支援する「教学企画室」と、全学教育の実施・支援機能を担う「教育推進機構」をそれぞれ新設した。教育推進機構では、令和5年度概要要求事業により、大学院教育を一層高度化・充実させるために、大学院教学マネジメントの拠点として、教育推進機構内に「大学院共育共創センター」を令和6年3月1日付けで設置した。その他、教育推進機構の機能強化を目的として、教育推進機構内の広報委員会や教育研究紀要編集委員会等の各種委員会を定期開催し、その実質化を図った。また、教育推進機構内の5部門について、当該部門の業務遂行等に関する事項を審議する「部門会議」を新設し、各部門教員間の横の繋がりの向上を図ることで、有機的連携体制の構築に務め、運営の安定化を図った。 ②機構全教員に「公的研究費等の不正使用防止に係るコンプライアンス教育」をe-Learningコンテンツにより受講するよう指示し、また、本学における公的研究費等の不正使用等防止に関する取組みを周知し、再確認を促した。また、情報セキュリティe-Learningにおける自己点検の実施、個人情報保護研修の受講等、法令遵守の徹底を図った。
⑤センター・機構等業務	関連する 中期計画の番号	センター・機構等業務における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
①卒業生・修了生の就職先アンケートの検証結果に基づき作成した調査報告書について、Target2025の推進と各学部CPの改訂の資料として提供する。また、各種アンケートの見直しを行い、何を身に付け、何ができるようになったかを重視するカリキュラムへの改善に活用・貢献する。	(2-1)	①卒業生・修了生の就職先アンケートの集計結果を分析・検討し、Target2025の推進と各学部CP改訂の参考に資するようフィードバックを行った。次回の実施に向けて、卒業生・修了生の就職先アンケートの実施方法、実施対象及び実施時期についての見直しを進めている。また、卒業生・修了生アンケートの集計結果を各学部・研究科にフィードバックし、情報提供を行った。さらに、過去の授業評価アンケート結果の分析に着手し、見直しを進めた。
②APIに則った入学者選抜の実施について検証し、その結果を踏まえ、入学者選抜の改善を推進する。また、入学前教育の着実な実施に向けた準備として、新入生調査の実施と分析及び複数部局に対する試行実施の確認等を行う。	(2-2)	②自己点検評価の仕組みを活用し、APIに則った入学者選抜の実施について検証している。検証結果や、突発的に発生してくる入学者選抜の課題に関して改善すべく、種々の取り組みを行っている。具体例として、「特別選抜の小論文・総合問題への表記変更」、「入試ミス発生防止の注意喚起」、「大学院入試説明会の学内調査実施と情報共有」、「入試問題の開示方法の変更(WEB公開へ変更)」、「学部新入生の入学手続きWEB化」、「生成AIへの対応の考え方の提案」、「入学者選抜の改善のための意見交換・情報共有会(第1回10/31、第2回3/7)」、「入学者選抜の改善のための意見交換・情報共有会(3/13部局連絡会)」等の事項があった。入学前教育については、「新入生アンケート(ニーズ調査)」の実施、昨年度実施した「工学部の入学前教育受講生のヒアリング調査」の実施と分析結果のアドミッション委員会での公表を行った。昨年度部局に入学前教育に関するヒアリングを実施したことにより、本年度薬学部での入学前教育の実施が確認された。
③Target2025(学士課程教育の再構築)について、各部局との意見交換を実施し、意見・要望等を踏まえた上で、教育改革の設計案を完成させるとともに、Target2025の概要について、教職員に対し理解を深める場を提供する。	(3-1)	③各部局との意見交換を実施し、意見・要望等を踏まえて教育改革の設計案を完成させ、教育推進委員会の承認を得た。また、教育改革の実現に向けて必要な事項を検討する岡山大学教育改革実施準備委員会及びその委員会の下にWG・班を設置し、新カリキュラムへの移行の過程で見えてきた課題について、部局の意向を調査しつつ検討を進めている。さらに、第3学期に探究科目のパイロット科目として「知の探研2023」、高年次対象英語科目のパイロット科目として「プレ上級英語(Bridge - Business)」、「上級英語(Bridge - Academic)」を試行開講した。また、Target2025の概要及び詳細について理解を深めてもらうため、各部局の教務委員会及び教員会議等で説明を行った。
④全学の大学院関係の教育体制整備を行うため、委員会の見直しを図る。また、大学院における共通基盤科目・分野横断科目の設置、LMSを利用した学習活動の活性化及び高度化、学位プログラム化等への取り組みに貢献する。	(4-1) (5-1)	④大学院関係委員会の見直しを行い、大学院における教育・学習の円滑な運営・推進に関する重要事項を審議する「大学院教育運営委員会」を新設するとともに、大学院教育を一層高度化・充実させるため、大学院教学マネジメント拠点として「大学院共育共創センター」を設置した。また、「学修成果可視化に係る内容・表現方法検討WG」において、DPIに基づき、その各々の能力をどの程度修得しているかを定量的に示す学修成果の可視化を進めた。

注1) 本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。

注2) 自己評価による達成度(5~1)は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。

(※該当がある場合のみ) 昨年度の指摘事項に対する取組状況	
改善を要する点	
対応状況	